

全国小さくても輝く

07(平成19)年
11月24～25日
全国町村会館

自治体フォーラム

第10回

【呼びかけ】 憲法改正・道州制導入と「美しい国づくり」を掲げた安倍内閣が短命に終わり、地方制度改革のゆくえは不透明になってきました。福田新首相は「地方重視」を強調していますが、具体策はまだ見えてきません。しかし、参院選後に開かれた地方制度調査会の議論では、これまでとられてきた市町村合併策によって、市町村が落ち着いて行政に専念できなくなっているとして、市町村合併策の打ち止めが提案され、小規模自治体の権限を窓口業務などだけに絞り込む特例団体方式が提案されています。かつて全国の自治体にショックを与えた「西尾私案」が、再び息を吹き返す可能性が浮上してきています。

財政問題では、財政健全化法が国による小規模自治体への統制強化につながる可能性が取りざたされているとともに、いまのところ一部分に止まっている新型交付税の導入が、やがて地方交付税の削減にまで及ばないか危惧されています。今年度中に閣議決定の予定である国土形成計画では、一層の都市集中を促す政策が中心に置かれる様相であることや、2010年に切れる過疎法の行方も気になるようです。

一方、小規模町村の側に目を移してみますと、高齢化がピークに達し、「限界集落」と呼ばれる集落ぐるみ人の住めなくなる可能性の高い地域が急増しているほか、「村を動かす活力がもうない」（ある村長）という発言も聞かれ、地域をつくる活力をどこから生み出したらよいかとの深刻な悩みも聞かれるようになってきました。

「小さくても輝く自治体フォーラム」は、雪深い長野県栄村で第1回を開催してまもなく5年を迎えますが、これまで9回にわたり、小規模自治体の将来を真剣に考える熱心なみなさまに支えられて開催してきてきました。この間、悩みを分かち合うばかりではなく、小規模自治体ならではの実践的なまちづくりや効率的な財政運営の成果を交流してきたこと、そして市町村合併など国の政策にも影響を与える大きな力を蓄えてきたことなど、大きな成果を挙げることができました。

10回目の節目を迎えた「フォーラム」ですが、今回は、第二次市町村合併や新たな地方制度改革の動きに対して、改めて小規模自治体、農山漁村の存在意義を首都・東京において確認するとともに、大都市との連携の重要性を国民的規模で合意していく機会にしたいと思います。また、5年、9回に及ぶ「フォーラム」の成果を踏まえ、より大きな実をあげうる「フォーラム」運動へとステップアップしていくための跳躍台にしたいと考えております。なによりも、全国の小規模自治体の行政運営に日々苦勞されておられるみなさま、それを見守っておられる議員・住民のみなさまのご参加を期待しております。

2007(平成19)年10月10日呼びかけ人一同

呼びかけ人(10月10日現在、北から)

宮谷内留雄(北海道蘭越町長)・高畑秀美(北海道西興部町長)・久慈豊(青森県三戸町長)・関和典(青森県西目屋町長)・小林宏晨(秋田県上小阿仁町長)・上田郁雄(山形県大江町長)・松田貢(山形県金山町長)・高橋重美(山形県最上町長)・梅津輝雄(宮城県七ヶ宿町長)・古張允(福島県矢祭町長)・菊池基文(福島県高町長)・大柴勝弘(福島県鮎川村長)・小林日出夫(福島県泉崎村長)・湯田雄二(福島県下郷町長)・関清(群馬県川場村長)・関口和夫(埼玉県小鹿野町長)・石井俊雄(千葉県長生村長)・小林三喜男(新潟県津南町長)・平田大六(新潟県関川村長)・伊藤喜平(長野県下条村長)・高橋彦芳(長野県栄村長)・清水澄(長野県原村長)・岡庭一雄(長野県阿智村長)・小木首亮弐(長野県根羽村)・松島貞治(長野県泰阜村長)・中川豊(長野県大鹿村長)・大日方茂木(長野県小川村長)・谷口尚(岐阜県白川村長)・小川徳喜(岐阜県安八町長)・田代兼二郎(三重県朝日町)・藤澤直広(滋賀県日野町長)・嶋田正義(兵庫県福崎町長)・山内道雄(島根県海士町長)・岡田好平(香川県土庄町長)・濱田孝夫(香川県直島町長)・藤井賢(香川県綾川町長)・山下正臣(香川県琴平町長)・小國宏(香川県多度津町長)・石原収(香川県三木町)・上治堂司(高知県馬路村長)・今西芳彦(高知県本山町長)・小森純一(佐賀県基山町長)・山田憲道(長崎県小値賀町長)・坂本和昭(大分県九重町長)・工藤義見(大分県日出町長)・前田穰(宮崎県綾町長)・長瀬道大(宮崎県野尻町長)・桑畑和男(宮崎県三股町長)・椎葉晃充(宮崎県椎葉村長)・成崎孝孜(宮崎県諸塚村長)

日 程

日程は変更することがあります。

11月24日(土) (受付は12:30～)

- 13:15～13:30 あいさつ 「10回目を迎えた『フォーラム』に思う」(高橋彦芳・長野県栄村長)
13:30～13:45 メッセージ披露
13:45～14:55 記念講演 「農山村の現状と自治体のゆくえ 第29次地制調の議論を踏まえて」
(小田切徳美・明治大学教授)
14:55～15:10 休憩
15:10～16:20 記念講演 「これからの農山漁村の可能性を考える」(内山節・立教大学大学院教授)
16:20～16:40 「フォーラム」の新しい組織づくりの提案
16:45 終了
17:15～19:00 夕食交流会

11月25日(日)

- 9:15～9:55 報告「学生からみた農山漁村の可能性」(法政大学地域研究センター/立命館大学)
9:55～10:15 報告「食を通じて都市と農村を結ぶ」(菊池陽子・生活文化・地域協同研究会代表)
10:30～10:50 報告「集落の元気は村の元気」(長野県阿智村役場)
10:50～11:30 講演「これからの地方制度改革と小規模自治体」(岡田知弘・京都大学教授)
11:30～11:40 「アピール」採択
11:45 閉会

参加費・夕食交流会費 (参加は事前予約が必要です。今回は会場に限りがあります。定員は300名で、満員になりしだい締め切らせていただきます)

参加費 4000円 夕食交流会費 6000円 参加費・夕食交流会費とも、当日会場で申し受けます。
宿泊は今回、あつせんしません。参加者のみなさまでご手配願います。

会 場

全国町村会館2Fホール 〒1000014 東京都永田町11135 電話0335810471
夕食交流会 同じく全国町村会館内の会場で開きます。

交 通

飛行機の場合 羽田空港からモノレールで浜松町 JR浜松町から有楽町まで山手線に乗り、有楽町から地下鉄有楽町線で永田町下車徒歩1分。所要50分ほどです。

新幹線の場合 JR東京駅から地下丸の内口へ出て、地下鉄丸の内線東京駅から赤坂見附駅下車、坂道をあがって徒歩5分。所要20分。

インターネットで「全国町村会館」を検索しますと、会場と会場への行き方がわかります。

その他

ご自身の町村の案内パンフレットや諸報告書を、20～30部お送りください。交換コーナーを設けます。
恒例ですが、夕食会への各地の地酒等のご寄付を歓迎します。いつもより盛り上がった10回記念夕食会にしたいと思えます。を送られる場合は、自治体問題研究所(162-8512 新宿区矢来町123)「フォーラム」係へ。

第10回「小さくても輝く自治体フォーラム」参加申込書

(ファックスで自治体問題研究所 = 03-3235-5933 へお送りください。先着順にお受けします。)

名前

都道府県名

市町村名

所属・肩書き

連絡先TEL

f a x

男・女

夕食交流会に

出席する

出席しない